

# あかも!



【練馬・書記・石田浩平通 信員】草子街道沿いに営業



駐車場完備で現場からの昼食にも対応

## 手打ちうどん・そば もと橋

【練馬・書記・石田浩平通 信員】草子街道沿いに営業

する「手打ちうどん・そばもと橋」は、地域の分会に愛され、分会の忘年会・新年会でも好評のお店です。手打ちうどん・そばはもちろんのこと、分会の宴会などでは、事前の相談でお刺身なども対応可能。駐車場も完備される店舗では、現場からの昼食にも大活躍で、ランチも人気です。北海道産の蕎麦や、うなぎも自前でさばくなど料理も特別。

【営業時間】11時～15時、17時～20時【定休日】木曜

【住所】練馬区石神井台6-1-14【電話】3925-6000



【電話】5670-3077

【住所】葛飾区立石6-1-9 今井マンション1F

【営業時間】11時～15時、17時～20時(日曜は22時まで)

【住所】葛飾区立石6-1-9 今井マンション1F

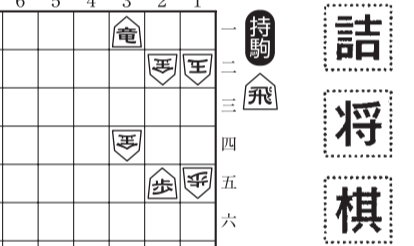


美味しい創作料理の店

【葛飾・書記・沼美幸通信員】青砥駅から線路沿いに歩くで見えてくるのが、「四季彩遊食房 アジアンロード」。生春巻きなどのアジアン系料理の他、刺身やラーメンなどもあり、創作料理が中心です。ランチのオスズメは、500円で食べられる鉄火丼。お好みで温泉タマゴやアボカドのトッピングも可。またディナーでは、美味しい料理とお酒がいただけ



ファミリカードの提示で、杏豆腐をサービス(ディナータイム限定)【営業時間】ランチ11時半～15時/ディナー17時～23時(日曜は22時まで)【住所】葛飾区立石6-1-9 今井マンション1F【電話】5670-3077



## 詰将棋

【持駒】一 二 三 四 五 六  
飛 歩 馬 王 電

電車通勤しているが、よく遅れる。その理由も様々で、荷物挟まり、駅の非常停止ボタン、線路内人立ち入り、車内トラブル、急病人の救護、人身事故などがあり、今朝は鹿と衝突だった。毎日のように遅れるから、乗客のイライラもヒートアップしている。

## チヨット一服(955)

遅れた原因に関して、ネットへの心ない書き込みも多い。世界中で日本ほど電車が時刻通りに走っている国はないそうだ。その代りに過密ダイヤだから、少しのことで遅れてしまうのだろう。「時間に正確だけれども遅れる」のが当たり前と理解しておこうと思う。少しはイライラ解消になるかもしれないからだ。



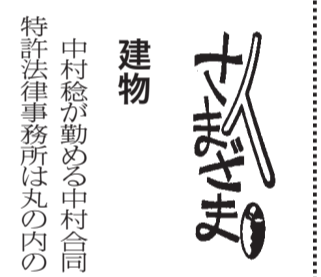
## 忘れえぬこと 亀の子ふたりに涙 旦那と現場通いの日々

住宅設備 久嶋梅子

たよね」と口ぐちに。そうか私だけじゃなかったのかと、私もその時代を思い出しました。40年くらい前、主人が独立した頃のことです。1人では無理な時もあり、手元か足元か猫の手か、時々手伝いに行きました。あの日は寒い日で空は重く、でも雪になるとは思いもありませんでした。現場は八王子の奥で高尾山に近い所で、今のようにコンビニもなく、仮設トイレもない時代です。ですからお昼のお弁当は出て力仕事してたな。若かつ

それまではビルの高さも一定で、丸の内のスカイラインは見事であったことから、建物は消耗品ではない、次代に引き継ぐべき社会的資産であろうと、中村は考えた。

作りません。早々とスーパーと食堂を探していました。現在はその現場にもトイレがあり、うらやましく思います。どんどん寒くなり、「早く終わらないかな」。夕方になると雪で畑や庭が白くなり、心配なことはいっぱい。子どもたちのことや無事に帰れるのかどうか、など。やっこの思いで帰る着くと、子ども2人はこたつに首を出し亀のようにして、テレビを見て待っていました。「ありがとうね」と言いながら、涙が出ていました。主人は「息子に技術は越されたな」と言いながら、まだまだ現役で頑張っています。2人で痛い痛みを我慢しながら、体が動く限り働き、組合の仲間と話したり笑ったり。もう少し頑張りたいと思います。(日野)



【本部・書記・若林美香】「このままでは普通級にいられません」子どもが小学生の時、担任の先生から言われた言葉です。他人のことは気にしない、ルールが守れない、やりたくないことはやらぬ、集団生活が普通できない「困った子」。こんな問題が起ったとき、育て方がいけなかったのかと悩む保護者は多いのではないのでしょうか。

私も子育てに悩み、教育相談や勉強会に行く中で、この本に出会いました。なぜ当たり前のことができないのかと叱る前に、ちょっと見方を変えてみませんか。何をやってもうまくいかず、困っているのは子どもなのだから。子どもの気持ちになって考えてみると、子どもなりに頑張らないで、ネットワーキングが大切。子どものおかげで経験できる新しいこと、新しい人間関係を親も楽しもう。そんなふうに思える一冊です。(新日本出版社・1728円税込)

## ほん

【本部・書記・若林美香】「このままでは普通級にいられません」子どもが小学生の時、担任の先生から言われた言葉です。他人のことは気にしない、ルールが守れない、やりたくないことはやらぬ、集団生活が普通できない「困った子」。こんな問題が起ったとき、育て方がいけなかったのかと悩む保護者は多いのではないのでしょうか。

私も子育てに悩み、教育相談や勉強会に行く中で、この本に出会いました。なぜ当たり前のことができないのかと叱る前に、ちょっと見方を変えてみませんか。何をやってもうまくいかず、困っているのは子どもなのだから。子どもの気持ちになって考えてみると、子どもなりに頑張らないで、ネットワーキングが大切。子どものおかげで経験できる新しいこと、新しい人間関係を親も楽しもう。そんなふうに思える一冊です。(新日本出版社・1728円税込)

## 共感力 大和久勝

子どもの気持ちになってみる

現代社会は、学校でも社会でも「普通」でいることが求められてしまふ。大人にとっても子どもにとっても、生きつらい世の中なのかもしれないね。

人はみんな苦手なことも、得意なこともあるのだから、出来ないことがあっても大丈夫。他人と違っても大丈夫。子育ては一人で頑張らないで、ネットワーキングが大切。子どものおかげで経験できる新しいこと、新しい人間関係を親も楽しもう。そんなふうに思える一冊です。(新日本出版社・1728円税込)